

2017年6月1日

保険薬局 各位

北野病院
薬剤部長 尾上雅英

服薬情報提供書（トレーシングレポート）の運用について

平素より、院外処方箋を応需いただき、ありがとうございます。

さて、保険薬局におかれましては、日頃より疑義のある処方について、処方医師に対し疑義照会を行っていることと思います。しかし、患者から聞き取った服薬アドヒアランス状況や軽微な副作用に関する報告、健康食品などの使用に関する情報など、即時性の低い情報については、診療上、重要な情報が含まれる場合もありますが、処方医師へフィードバックすることが困難なのが現状でした。

そこで北野病院薬剤部では、服薬情報提供書（トレーシングレポート）を導入することと致しました。今後、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容については、FAXにて服薬情報提供書を薬剤部まで送信願います。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報伝達を行い、情報の共有化を図りたいと思います。

保険薬局との連携を推進することで、適正で安全な薬物療法推進につながるものと考えます。保険薬局各位のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。